

日本共産党

神戸市会報告

中央区版 2016年春号

発行

日本共産党神戸市議団

中央区加納町 6-5-1

TEL : 322-5847

FAX : 322-6165

市議団 HP :

<http://www.jcp-kobe.com/>

神戸市会議員

大前
まさひろ



2015年12月の本会議で初質問を行い、市長に「ブラック企業対策に力を入れること」「保育所の増設で待機児童の解消を」「中央区役所、勤労会館の移転を中止すること」「元町有楽名店街の移転中止を求めること」「阪急春日野道駅、花隈駅、阪神西元町駅のバリアフリー化」を求めました。



元町高架通商店街がJRに立ち退きを迫られています。商店主にお話を伺い、神戸市に商店街を守るよう求めています。

非核「神戸方式」ができて41年。平和の港を持つ神戸から戦争法廃止に取り組みます。



中央区のみなさんに神戸市議会に送っていただき、もうすぐ1年がたちます。

昨年、本会議で市長に対し、ブラック企業対策を強化することや鉄道駅にエレベーターの設置バリアフリー化を行うことなどを求めました。

2016年度予算では昨年の決算特別委員会で質問した「医療的ケアが必要な児童の普通学級への受け入れ」や阪急花隈駅のバリアフリー化が予算化されました。

市民の暮らし応援の市政へ。みなさんの声を議会に届け、その実現に力を尽くします。

予算議会

こども家庭局審査

子育て応援のまち・神戸に

大前まさひろ議員は予算特別委員会で「子どもの医療費無料化を」「保育料の引き下げを」「待機児童の解消を」「保育所での医療的ケアの必要な児童の受け入れを」「学童保育の過密化の解消を」求めました。

子ども医療費の無料化は窓口負担が100円下がりましたが、無料化は全くすすんでいません。「市長公約でもあり、いつ無料化にするか明らかにすべきだ」と求めました。

大前まさひろ議員は「もっと子育て予算を増やして子どもの医療費を速やかに無料にするとか認可保育所をもっと増やすなど抜本的に対策を打つことが必要」だと求めました。



保育料の他都市比較を示して質問